

街区管理組合理事長 各位
街区役員 各位

六甲アイランド防災クイズ結果報告

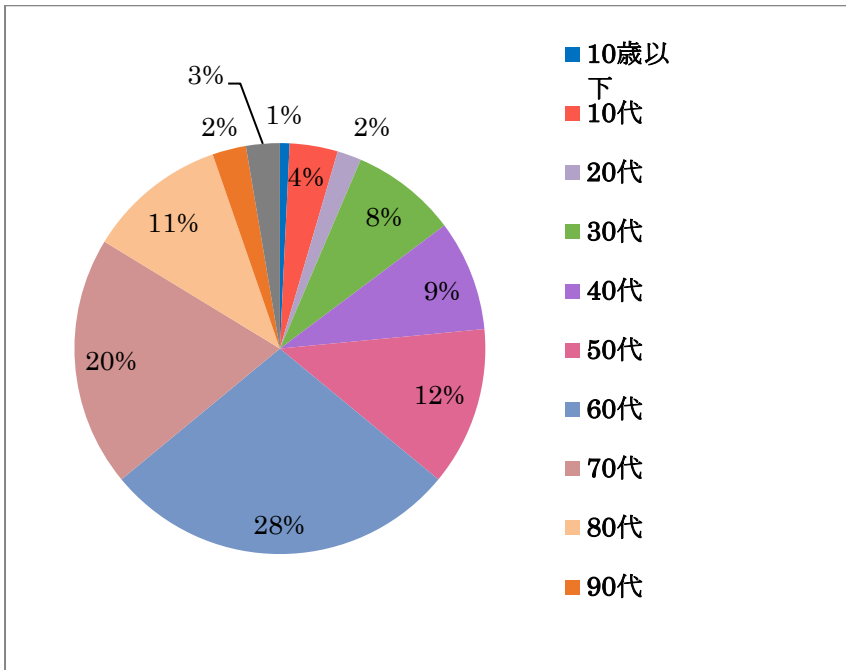
六甲アイランド CITY 自治会 生活安全部
六甲アイランド CITY 防災福祉コミュニティ

2023年3月12日から3月31日まで実施した六甲アイランド防災クイズでは、皆様のご協力を賜り感謝申し上げます。多数の回答をいただきましたので、以下にご報告いたします。

クイズ配布枚数：6870枚

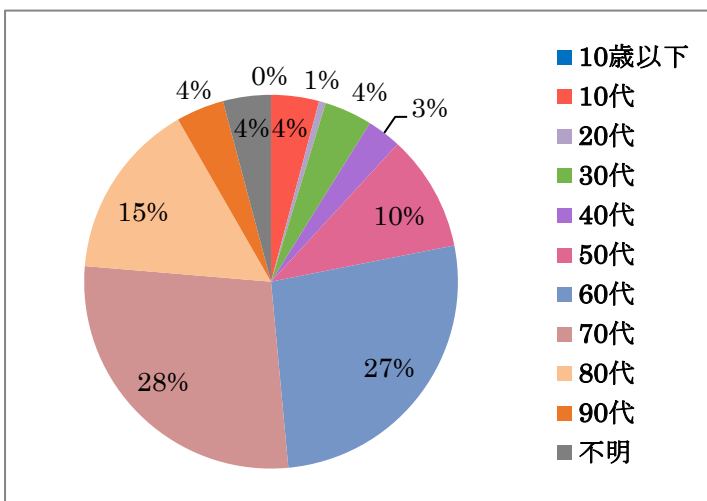
回答総数：264名（回答用紙提出169名 Web回答提出95名） 回収率：4%

クイズ回答者年齢分布

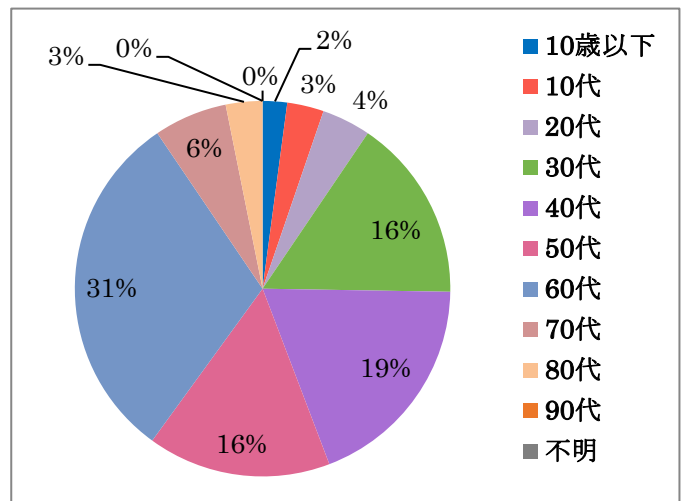


- ・回答者の年齢は当初の予測通り、60代70代の回答者が多かった。
- ・10代以下から90代まで、すべての年代に回答者が存在する。
- ・紙版、Web版の年齢分布を比べると、紙版は60-70代が過半数を占め、Web版は30-40-50代で過半数となる。
- ・Web回答も受け付けたことで40代以下の回答者数を増やすことができたといえる。

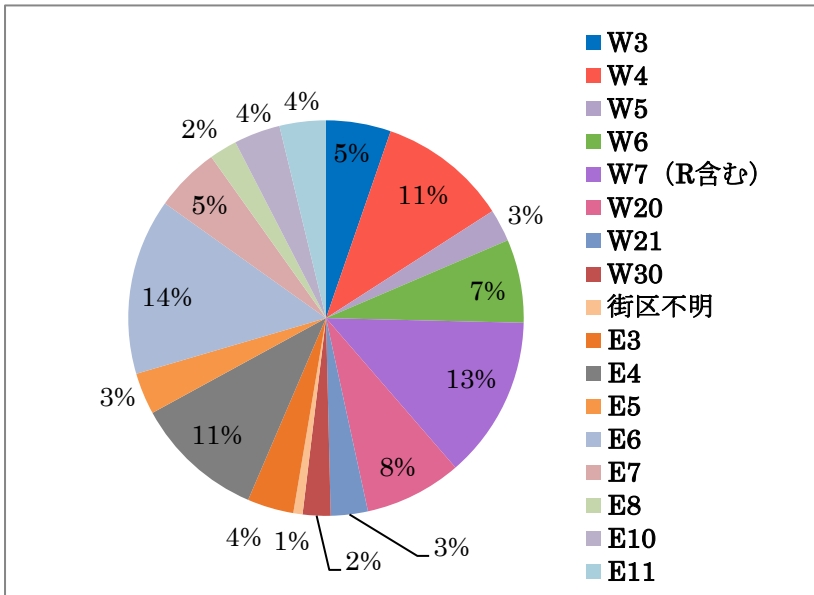
回答用紙提出者年齢分布



Web回答者年齢分布



回答街区分布



回答街区については総戸数の違いもあるため、一概に比較はできないものの、全街区にわたりご協力いただけたことがわかる。

14%(E6), 13%(W7, 7R), 11%(W4, E4)

クイズについて

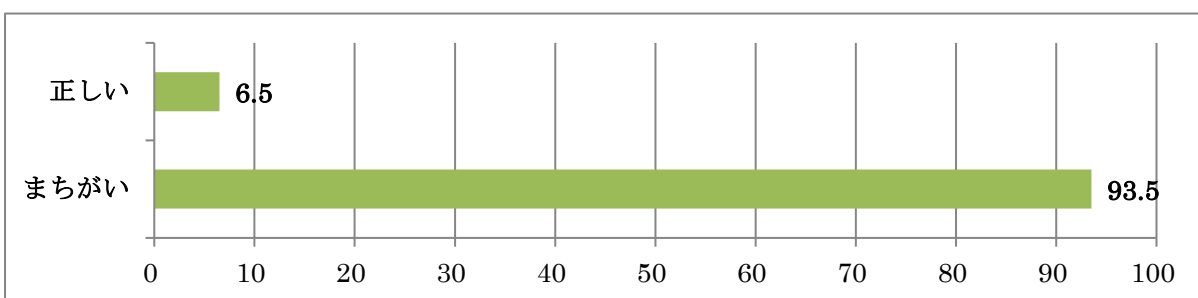
設問は、一般的な防災知識を尋ねる一般クイズと、六甲アイランドに特有な防災知識を問う六アイクイズの2種類に分かれます。各解説に、《一般クイズ》、《六アイクイズ》と記載します。

また正答率が高かったものを項目A、不正解率が20%以上で、今後、正答率を高めたい設問を項目Bにまとめました。

A. 正答率が高かった設問

- 1、《一般クイズ》 防災情報の警戒レベル5「緊急安全確保」、レベル4「避難指示」、レベル3「高齢者等避難」のうち、避難を開始するのはレベル5「緊急安全確保」が発令されたときである。

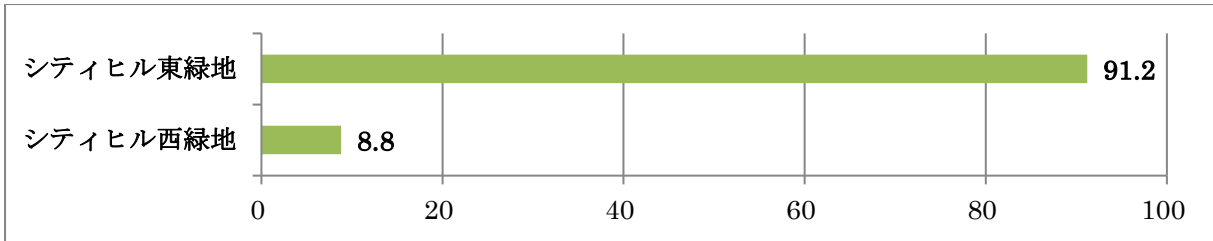
正解：「まちがい」



令和3年5月、「避難勧告等に関するガイドライン」が改定され、「避難情報に関するガイドライン」となりました。以降「避難勧告」は廃止されて、代わりに防災情報の警戒レベル4以上で、居住者等は危険な場所から全員避難することが求められています。警戒レベル5の「緊急安全確保」は、立ち退き避難することさえ命にかかわる危険な状況のときに出されます。ただし市町村がその状況を把握できるとは限らず発令されないことがあります。自分の命は自分で守ることを第一に、早い段階で「安全を確保する行動」をとりましょう。

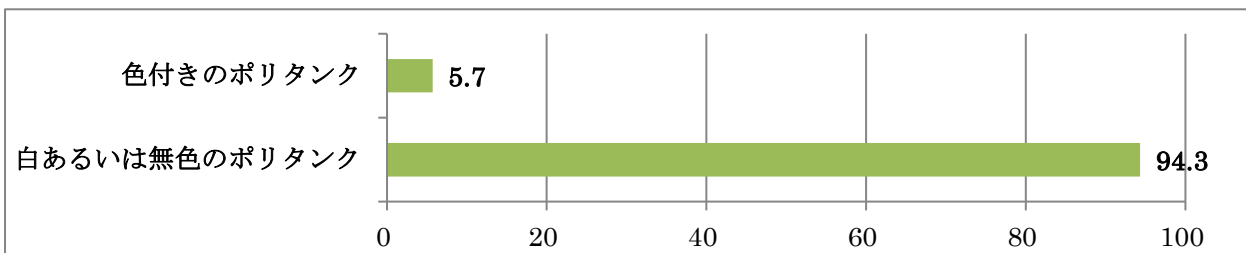
防災についてはいつも最新の情報に気をつけ、折に触れてフィードバックして記憶を新たにし、いざというときに戸惑わないようにしましょう。

2. 《六アイクイズ》 六甲アイランドには貯水機能のある災害時給水拠点が整備されている。それはどこでしょう？ 正解：「シティヒル東緑地」



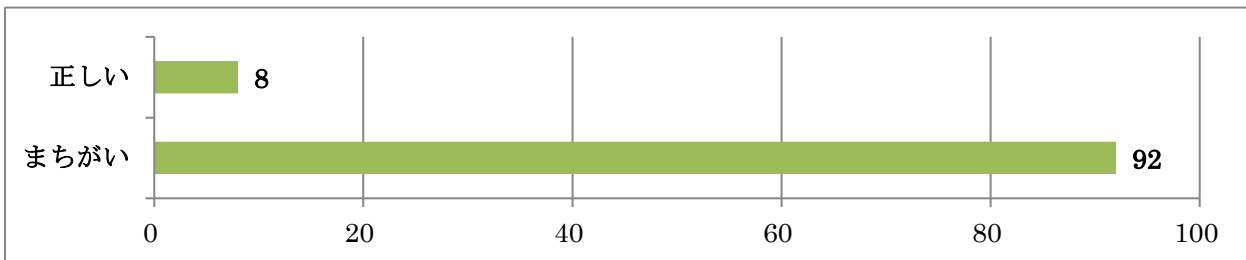
シティヒル東緑地には「新鮮な飲料水を貯水可能な 600 t タンク」があり、自治会が鍵の管理を付託されています。また毎年 3 月第 2 日曜には午前 10 時から、水道局職員の指導を受けて給水訓練を行っています。

3. 《一般クイズ》 飲料水備蓄用のポリタンクを買いにホームセンターに行くと、赤や青など色付きのものがあつた。あなたは以下のどちらのポリタンクを買う？ 正解：「白」あるいは無色のポリタンク



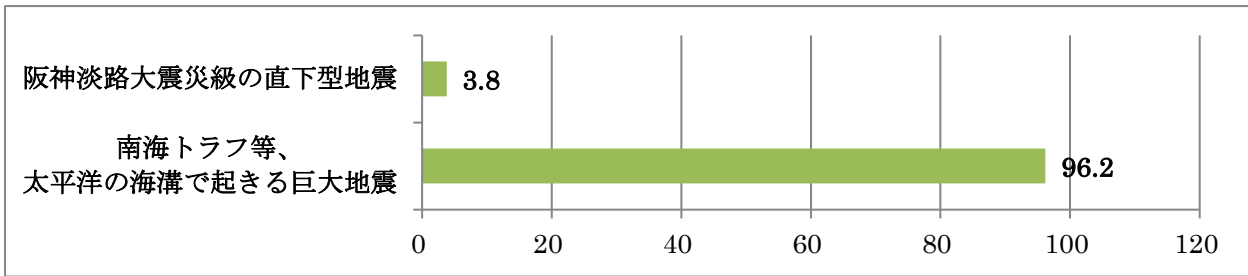
ホームセンターにはいろいろな色のポリタンクが売られていますが、飲料水を保管するポリタンクには、着色されていない白あるいは無色のポリタンクを選びましょう。

4. 《一般クイズ》 本棚は、本を隙間なく並べることで「家具固定」したことになる。正しい？ 正解：「まちがい」



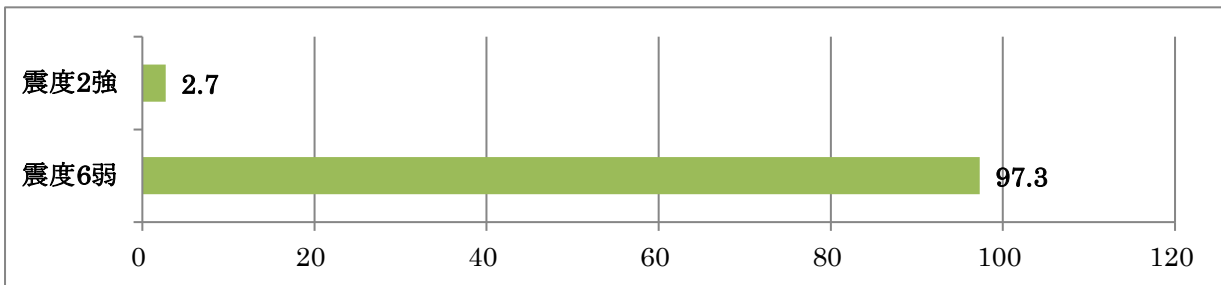
家具固定に関するクイズです。地震の際、自宅で家具の下敷きになって負傷しないために、お住まいのマンションの規約を確認したうえで、壁に家具を固定するか、ホームセンター等で売っている、簡便に家具を固定できるグッズを使って固定するようにしてください。

8. 《一般クイズ》 六甲アイランドに最大津波高 3.3mの津波が来ると予測されているのは、次のどちらの地震？ 正解：「南海トラフ等、太平洋の海溝で起きる巨大地震」



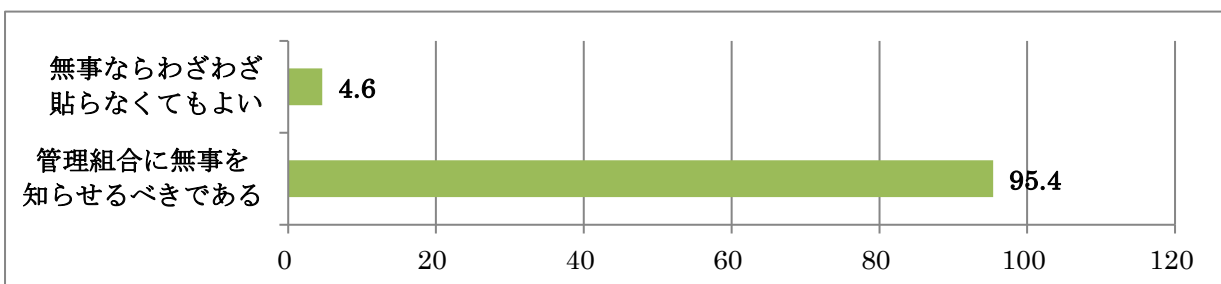
地震には阪神淡路大震災のような活断層型地震と、東日本大震災や南海トラフ巨大地震のような海溝型地震があり、津波はこの海溝型地震が起きたときに発生します。南海トラフ巨大地震では、六甲アイランドに最大で津波高 3.3mの津波が来ると予測されています。また、津波は第1波より、その後の第2波か第3波が高くなります。津波高 3.3mであれば、六甲アイランド CITY 内に被害はないと予測されますが、津波警報が解除されるまでは決して海のそばに行かないようにしてください。

10. 《一般クイズ》 南海トラフ地震で予測されている、東灘区の最大震度は？ 正解：「震度6弱」



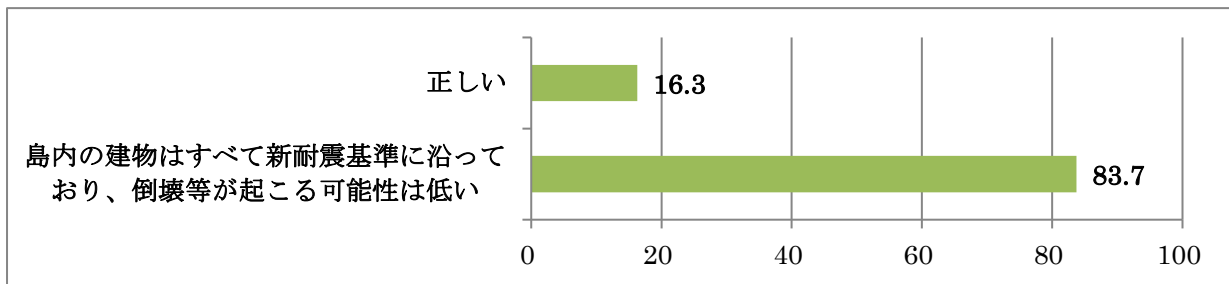
南海トラフ巨大地震での東灘区の最大震度は6弱と予測されています。阪神淡路大震災は当初、震度6とされましたが、のちに震度7に改められました。

11. 《六アイクイズ》 大地震が発生したが、自宅にいて無事だった。その際も、「無事ですシール」を貼りだして、管理組合に無事を知らせた方が良い？ 正解：「管理組合に無事を知らせるべきである」



大規模災害が発生すると、街区では災害対策本部が設置されます。災害対策本部では、住民の安否や島外避難者の有無など、あらゆる情報を集める必要があります。当たり前に見えることでも、災害対策本部に知らせるようにしましょう。

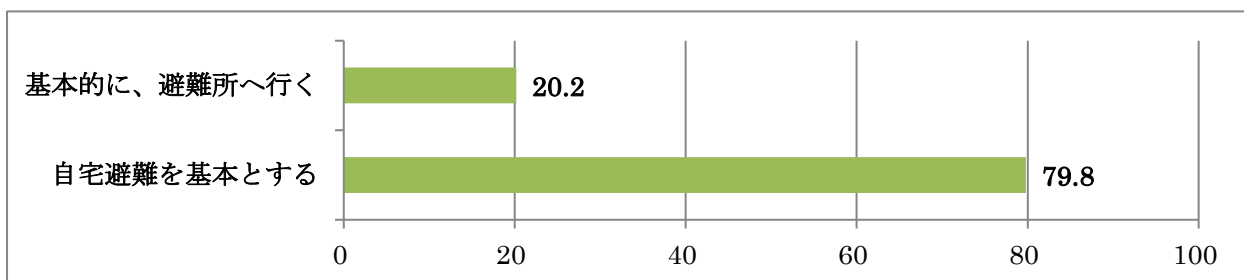
12. 《六アイクイズ》 六甲アイランドは高層住宅が多く、南海トラフ地震等、巨大な地震が発生した際に倒壊が心配だ。正しい？ 正解：「島内の建物はすべて新耐震基準に沿っており、倒壊等が起こる可能性は低い」



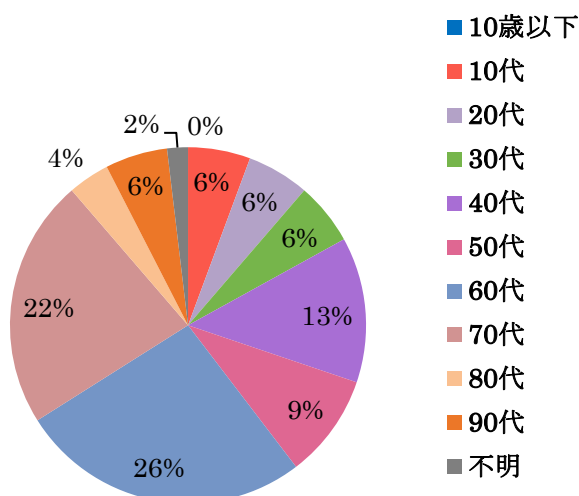
「新耐震基準」は震度6強～7程度の揺れでも建物が倒壊・崩壊しないことを基準としており、1981年6月1日から施行され、現在も変わらず適用されています。

B. 今後、正答率を伸ばしたい設問

5. 《六アイクイズ》 六甲アイランドCITYでは全員が避難所に避難する？それとも自宅避難？

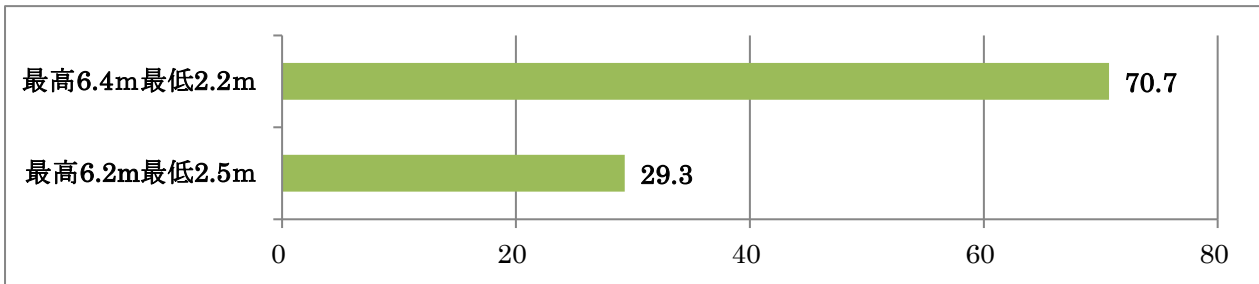


設問5 不正解者分布

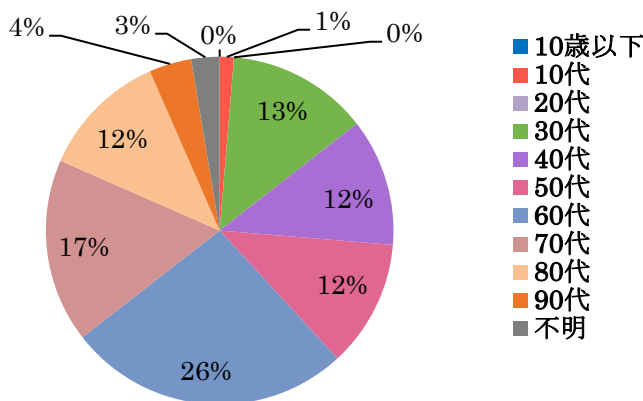


正解は「自宅避難を基本とする」
自治会では「大規模震災時には原則、自宅避難」を呼びかけています。
不正解者の48%が60-70代です。

6. 《六アイクイズ》六甲アイランドCITY内（シティヒルの内側）で、公園内を除いた最高海拔と最低海拔は、次のどっち？



設問 6 不正解者分布

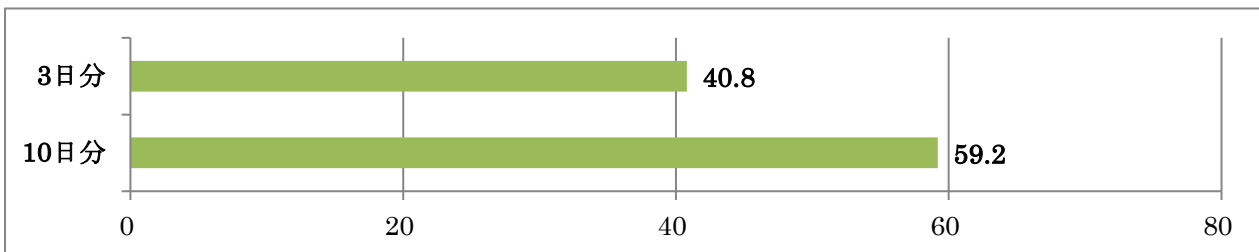


正解は「最高 6.2m 最低 2.5m」

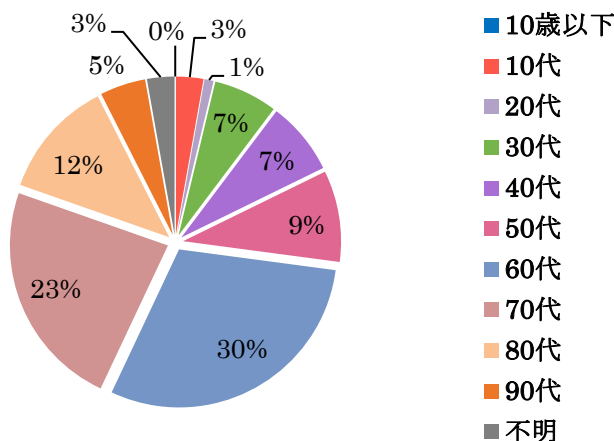
安全マップをご利用いただく設問です。W4番街とW5番街の間の海拔6.2m（CITY内最高海拔）と六甲アイランド高校南東、交番前の海拔2.5m（CITY内最低海拔）をご確認ください。

不正解者分布グラフでは、60代が不正解者の1/4を占め、その次が70代、30代、40代、50代、80代がほぼ同率（12%）です。

7. 《六アイクイズ》 六甲アイランドCITY自治会が推奨する食糧備蓄は何日分？



設問 7 不正解者分布

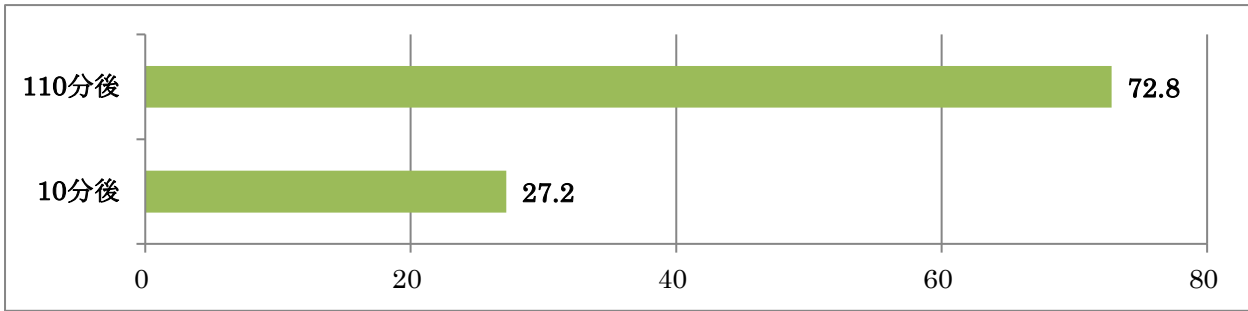


正解は「10日分」

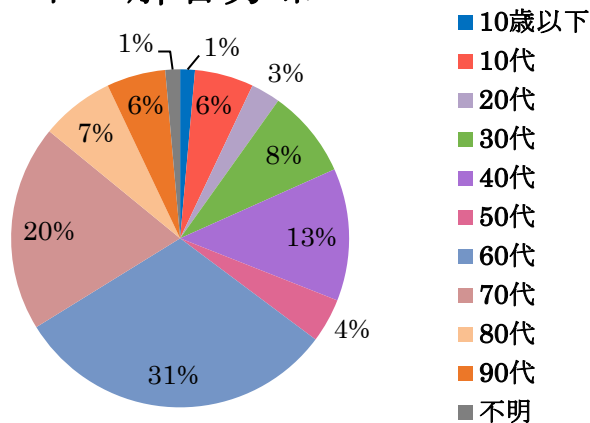
南海トラフ地震が発生した場合、被害エリアが広く、また被災状況も甚大なため、六甲アイランドに公助の手は届き難いと考えます。各自で食料と水の備蓄を10日分程度、お願いします。

不正解者分布グラフで見ると、60-70代の回答者が全体の50%を占めています。

9. 《六アイクイズ》南海トラフ地震が発生した際、東灘区に津波第一波が到達するのは何分後？



設問 9 不正解者分布



正解は「110 分後」です。110 分後には高さ約 1m の津波が到達し、その後、第 2 波か第 3 波で最大津波高 3,3m となります。

すべての津波が収束するまで約 6 時間かかります。津波警報が解除されるまで海には近づかないようにしましょう。

不正解者分布グラフを見ると、やはり 60-70 代が全体の 50% を占めています。

以上項目 B においては、六甲アイランド CITY では自宅避難を基本とすること、食糧備蓄は 10 日以上をお願いしていることなど、六甲アイランドの特性として公助が遅くなることを考慮して、速やかに周知を進める必要があることがわかりました。また、津波到達までの時間など、南海トラフ巨大地震の特性についても周知を進める必要があり、どの設問も全年代に不正解者が存在することから、まんべんなく周知する必要もありますが、不正解者の多い年代にターゲットを絞った周知が肝心かと思われま

す。また、自治会 HP からダウンロードできる『防災の手引き』を再度広報することも有用と思われま



自治会 HP 『防災の手引き』
ダウンロードページ

〈自由記入欄コメント〉

- ・いつ起こるかわかりませんが、自分で出来る限り準備はやっておこうと思っています。
 - ・災害意識は大事だと思っておりますが、なかなか取り組めてないのが現状です。住んでいる地域の防災を知ることができました。(クイズに答える為に、調べました)
 - ・新しい地図が大変見やすいです。
 - ・このようなクイズ形式でポストに投函いただけると、家族で調べて改めて学ぶことができました。有難うございました。Web 回答にはメールにて正解を送信していただきたいです。
 - ・マップやクイズは地震の備えにとっても役立ちました。
 - ・自宅避難ということを知らない人が多くてびっくりしたので、学校や幼保、イベントなどを活用して広めていってほしいです。
 - ・ダイエーの売り場での防災用品のコーナーが見当たらない。
 - ・自身は起こって欲しくないですが、備えは必要ですね。町の安全対策は全住民の課題です。
 - ・改めて見直してよかったです。
 - ・難しかったです。
 - ・防災について見直す良い機会になりました。防災に限らず知っておくべき情報をクイズ形式にすると皆の意識が高まってよいと思いました。ありがとうございました。
- ・良い勉強になりました。
- ・クイズの答を見つけながら、防災地図やインターネットを検索することで、防災の学びの大切さを再認識いたしました。
- ・クイズイベントに参加して手元の資料を初めて見ながら行ったので理解ができました。定期的に今後もこの「考えよう」イベントがあったら良いかもしれませんね。街区フロントや掲示板がどこかも知りませんでした。